第六十五回農林水産祭参加　全国林業経営推奨行事式辞

本日ここに、大日本山林会総裁であられる秋篠宮皇嗣殿下のご臨席を仰ぎ、第六十五回農林水産祭参加・全国林業経営推奨行事の賞状伝達贈呈式を挙行できますことを、大変光栄に存じます。主催者を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

また、本日はご多忙の中、長﨑屋林野庁長官をはじめとするご来賓の皆様にご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

なお、三会堂ビルの建て替えに伴い、本年度もここ飯野ビルにて開催しております。新築工事は順調に進んでおり、来年九月の竣工を予定しておりますことを併せてご報告申し上げます。

さて、本推奨行事は、森林の適正な管理と林業経営の改善に尽力され、わが国の林業の持続的発展に寄与された林業経営体を顕彰し、もって林業振興に資することを目的としております。今年度も全国から多くのご推薦をいただき、厳正なる審査を経て、農林水産大臣賞八件、林野庁長官賞十六件、大日本山林会会長賞八件、計三十二件を選出いたしました。

審査にあたりましては、筑波大学名誉教授・餅田治之先生を委員長とする学識経験者の方々による委員会、ならびに林野庁・森林管理局による現地調査を重ねていただきました。この場をお借りして、審査委員の皆様、ならびに林野庁、各都道府県の関係者・関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

本日、表彰を受けられる皆様は、日々の創意工夫により、地域林業の振興に多大な貢献をされておられます。本年、閣議決定されました「森林・林業基本計画」におきましても、森林が持つ環境価値をいかに社会的に評価し、多様な人材や最新技術を導入して、持続可能な産業へと発展させていくかという、高度な経営感覚が求められております。

また、先月アルメニアで開催された生物多様性条約締約国会議、そして今トルコで開催されている気候変動枠組み条約締約国会議におきましても、森林の役割について重要な議論が交わされております。森林が地域のみならず、地球規模の課題を解決する鍵として、その重要性がますます高まっていることは周知の通りでございます。

こうした世界的な潮流の中で、皆様の日頃のたゆまぬ取り組みは、まさに時代の要請に応えるものであり、国内外で高く評価されるべきものであると確信しております。皆様のご活動は、今後の林業経営の模範として、末永く輝き続けることでしょう。改めて、本日の受賞を心よりお祝い申し上げます。

当会におきましても、公益社団法人として、普及啓発、調査研究、管理経営、ならびに林業文献センターの運営等を通じ、民間林業のさらなる発展に寄与してまいる所存です。引き続き、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご皇室の弥栄（いやさか）をご祈念申し上げますとともに、受賞者ならびにご参加の皆様のご健康と、さらなるご発展を心よりお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和八年十一月十日

公益社団法人 大日本山林会　**会長　沢田　治雄**